

# VOICE

Volunteers of International Communication & Exchange



## VOL.66

発行日 2017年9月29日  
発行 熊本県国際協会  
〒862-8570  
熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
熊本県国際課内  
TEL 096-385-4488  
FAX 096-277-7005  
kuma-koku@cup.ocn.ne.jp  
<http://www.kuma-koku.jp/>



1

## 国際協会活動報告

- 平成29年度総会について
- 平成29年度国際事業部会事業提案会について

2

## 人物紹介

- 熊本県国際交流員ローラ マギーさん

3

## 会員団体紹介

- 熊本電気鉄道株式会社
- 九州産交ツーリズム株式会社

4

## トピックス

- 姉妹都市締結20周年記念事業 ——水俣市
- 「日独友好の礎」墓碑の修復を記念して ——熊本日独協会
- 熊本の留学生たち ——熊本県立大学
- 引き続き復興支援の活動をしています ——MATEインターナショナル倶楽部

5

## お知らせ

- 第24回熊本国際交流祭典の開催について

6

## 会員団体行事予定

第24回熊本国際交流祭典フライヤー

## ◆平成29年度総会について

2017年5月11日、熊本市国際交流会館で、平成29年度熊本県国際協会総会を開催しました。当日は会員65団体（うち委任状23団体）の出席のもと、平成28年度事業実績・収支決算及び本年度の事業計画・収支予算についての審議が行われ、全ての議案が承認されました。つづいて協会役員の改選が審議され、新しく4名の理事が就任しました。

議事終了後は、外務大臣官房総務課地方連携推進室課長補佐の北原久美子氏が「外務省と地方の国際交流について」と題し、外務省の取り組みについて講演を行いました。



総会の様子



北原 久美子氏による講演の様子

## 熊本県国際協会役員名簿

※下線は新理事

役 職	所 属 団 体	氏 名	
会 長	熊本県知事	蒲島 郁夫	
副会長	熊本市長	大西 一史	
副会長	熊本大学学長	原田 信志	
理事長	熊本県協力隊を育てる会	山部 征三	
総務企画部会	副理事長 部会長	熊本アイルランド協会	藤門 豊明
	理 事	熊本市北部国際青年交流会	上村 勝代
	理 事	公益財団法人 熊本 YMCA	神保 勝己
	理 事	熊本むくげの会	毛利 秀士
	理 事	(一社) 熊本青年会議所	<u>大館敬七郎</u>
	理 事	熊本日伯協会	上野 淳
	理 事	崇城大学	<u>草壁 克己</u>
	理 事	東海大学	石 岩
国際事業部会	副理事長 部会長	MATEインターナショナル 倶楽部	酒井 陽子
	理 事	熊本大学	高島 和希
	理 事	熊本県日韓親善協会	松崎 幸子
	理 事	熊本県国際農友会	五嶋 義行
	理 事	熊本県立大学	津曲 隆
	理 事	熊本ユネスコ協会	<u>谷口 博通</u>
	理 事	熊本県ユニセフ協会	<u>杉光 啓子</u>
理事兼 事務局長	熊本県国際課	小金丸 健	
監 事	人吉市国際交流協会	赤山 武興	
監 事	熊本学園大学	カーク・マステン	
相談役	熊本むくげの会	筑紫 汎三	

(任期：2017年5月11日～2019年5月10日)

## ◆平成29年度国際事業部会事業提案会について

2017年6月23日に国際交流会館で、国際事業部会事業提案会を開催し、以下の7事業が採択されました。

- 第25回「アフリカの子どもの日」in Kumamoto（熊本県ユニセフ協会）
- プロによる日本伝統音楽と伝統工芸の紹介（熊本日米協会）
- 熊本2018セント・パトリックス・デイ・パレード（熊本アイルランド協会）
- 訪日教育旅行受入による日台の国際交流拡大（熊本電気鉄道株式会社）
- 手作り線香花火で国際交流（（一財）熊本市国際交流振興事業団）
- 「絵で伝えよ！わたしの町のたからもの」絵画展～スリランカとの絵画交換～（熊本ユネスコ協会）
- 第20回九州ブロック海外子女教育・国際理解教育研究大会熊本大会（熊本県国際教育研究会）

今回は、熊本県国際交流員のローラ マギーさんにお話を伺いました。

－出身地について教えてください。

アメリカ合衆国オハイオ州の州都コロンバスです。生まれてから大学卒業までの22年間はここで育ちました。

－日本に興味を持ち、日本に来たきっかけを教えてください。

祖父がロボット関連の仕事をしており、日本の企業と関わりが多く、出張も行っていました。また、祖母も日本の陶芸をやっていたため、私自身も自然と日本の文化、食事、アニメ（ポケモンなど）に興味を持ちました。

そして、大学三年生のときに、オハイオ州の交流プログラムで6週間、姉妹提携先の埼玉県川越市の企業のインターンシップ研修に参加しました。その結果、日本のことをもっと知りたいと思い、JETプログラムに応募しました。

－赴任先が熊本に決まったときの思いや赴任後の熊本の印象は？

できれば本州にと考えており、遠い所だなと思いましたが、行ってみようと思いました。最初の赴任地は天草で、夏は暑いと思いました。しかし、昨年熊本市内に移ってきて、もっと暑いと感じました。

天草や阿蘇など、熊本はとても自然が豊かな所だと思います。それから、熊本には結構どこにでもくまモンがいて、出くわすことが多いように感じます。

天草でALTをしていたときに、生徒が先生に挨拶するのに驚きました。米国では生徒は先生に挨拶する必要はありません。



くまもと天草 下田温泉祭にて

#### プロフィール

2013年来日。天草で3年間ALTの経験を積んだ後、2016年から県国際交流員（CIR）として勤務。熊本市在住。27歳。

－国際交流員（CIR）としてどんな仕事をしていますか？

JETプログラムで熊本に来ている皆さんの相談に乗ったり、生活情報の提供を行っています。また、翻訳・通訳業務を行っています。現在（注：8月上旬にインタビュー実施）は、JETプログラム参加のため新たに熊本にやってくる皆さんへのオリエンテーションの準備を行っています。

－休日はどんなことをしていますか？

県内や九州内を車で回っています。登山も温泉も好きで、黒川温泉に入りに行ったりします。公衆浴場には最初は抵抗がありましたが、今は大丈夫です。混浴は入りませんが…。

－今の仕事は1年後に任期満了ですが、将来について教えてください。

日本に残るのか、米国に帰るのか、どうするか全く未定です。米国に戻るなら大学院に進学する可能性もありますが、とにかく将来どうするかはまだ全く決まっていません。



雲仙岳登山中

## ◆ 熊本電気鉄道株式会社

当社は企業理念の「地域とともに、地域住民のために」を軸に、熊本各地域の観光情報PR不足による経済状況の衰退、国内外の国際交流の減少といった熊本各地域の課題の一助になりたいという方針のもと、インバウンド事業に着手いたしました。

その中でも特に力を入れておりますのが台湾と熊本県との「交流促進」です。現状で台湾の学生数は熊本との航空便が運行している高雄市内だけでも、小学校から高等学校までで約30万名にのぼり、日本を含めた海外への教育旅行も各地で盛んに行われております。その一方熊本県は海外からの学生の受入における課題がまだまだ多く、ごく一部の学校でのみ交流が行われている状況です。そのため当社では更なる交流促進のため県内各地域の行政と連携し

受入環境の整備を行い、台湾・熊本の学校のマッチングをしております。

一人でも多くの子供たちの国際感覚を養う一助となり得るよう、私どもでは台湾と熊本の相互交流を支援して参ります。



台湾嘉義縣立東石中学校が八代市を訪問

## ◆ 九州産交ツーリズム株式会社

弊社の旅行事業ビジョンは、『お客様へ安全安心で豊かな旅行を提供し、地域社会に愛され、貢献できる旅行会社になる』と掲げており、現在、特にインバウンド事業に注力しております。

- <主な内容>
- ①熊本・九州の着地型コンテンツを造成（インバウンドのお客様へ）
  - ②桜町再開発ビル内でのウェルカム機能（プラットホーム）を充実
  - ③路線バス利用のパックツアー（国内外のお客様向け）造成

これらの事業展開を進める事で、九州の玄関を『熊本』へ、『Hub&Spoke』機能（ストレスのないアクセス接続とインフォメーション）を構築していきたいと考えています。現在二次アクセスの見直し、ワンストップ環境とモデルコースを提供できるような環境整備へ着手しております。行政の皆様ともいろいろなご相談をさせていただきながら実現へ向かって進んでおります。

ぜひこれからの九州産交の構想にご注目ください。



桜町再開発ビル完成イメージ

## ◆ 姉妹都市デボンポートを訪問しました（姉妹都市締結20周年記念事業）——水俣市

水俣市は、1996年2月に、デボンポート市（オーストラリア・タスマニア州）と姉妹都市協定の締結を行い、2016年2月に締結20周年を迎えました。これを記念して、2016年4月には、デボンポート市長をはじめとする8人の訪問団が水俣市を訪れ、市民との交流を楽しみました。

そして今回、2017年3月に、総勢22人の水俣市訪問団が現地を訪問し、両市長による今後更なる友好促進を約束する誓約書への調印式等を行いました。

デボンポート空港での温かい出迎えに始まり、現地の姉妹都市協会をはじめとする皆様のおかげさまで、多くのプログラムを通じて、とても内容の濃い充実した交流となりました。また、今回本市の訪問団として同行した水俣高校の生徒6人は、現地の高校生宅へホームステイし、一緒に高校で授業を受けたり、水俣高校の取組等について英語でプレゼンテーションをしたりするなかで、様々な気づきを得たことでしょう。

今回の訪問をきっかけに、両校は姉妹校の締結に向けて動き出したところで、今後の交流がますます楽しみです！

水俣市政策推進課



20周年記念調印式典にて（中央奥は両市長）



現地の「セント・ブレンダン・ショー高校」でプレゼンを行う水俣高校生

## ◆ 「日独友好の礎」 墓碑の修復を記念して——熊本日独協会

熊本日独協会は会員数163名で、1965年に発足してから、日本とドイツの民間レベルでの文化、教育、学術、医学、スポーツなどの交流と親善の活動を行ってきた。今年は熊本市・ハイデルベルク友好都市締結25周年記念のドイツ訪問ツアーを計画し、9月29日から8日間、ハイデルベルクの関係団体と交流会を行うほか、ローテンブルク、フュッセン、ミュンヘンなどドイツ各地を訪問する。

熊本市中央区黒髪の小峰墓地にオイゲン・ガンテル氏（熊本医学校教師、1903年没）とカール・シリング氏（第一次世界大戦時の俘虜、1915年没）の2名のドイツ人の墓石がある。熊本日独協会は彼らを顕彰するために2008年に「日独友好の礎」の墓碑を彼らのお墓の傍らに建立した。

しかし、昨年の熊本地震により、これらの墓碑・墓石が倒壊し、当協会会員の募金などにより修復され、本年4月に一年ぶりに元の姿を見せることができた。

この修復を記念して、2017年5月17日に鶴屋東館で開催した当協会年次総会の中で、室内墓前祭を行った。墓前祭では冒頭に2名のドイツ人のご冥福を祈って黙祷、その後、八戸会長から墓碑・墓石の説明、および倒壊と修復についての報告が行われ、最後に当協会の合唱団「コール・クライゼル」によるシューベルト作曲「ドイツ・ミサ」の追悼の演奏で締めくくった。

熊本日独協会会長 <sup>やえ</sup>八戸 和男



「日独友好の礎」建立記念墓前祭 2008年11月15日

## ◆ 熊本の留学生たち — 熊本県立大学

熊本県立大学では、2017年5月1日現在、5カ国から13名の留学生が在籍し、様々な分野について勉強・研究をしています。

**呉 嘉瑜** (ウー チアユ) さん (28)  
環境共生学研究科、台湾



— 2014年9月に熊本に  
来ました。地元の台北  
科技大学大学院で重金  
属の研究をしていた頃、  
修士課程修了後は漠然  
と就職または結婚を考  
えていました。しかし、  
教授に勧められ、熊本

県立大学大学院の博士課程へ進学を決めました。  
私が熊本を選んだというよりは、熊本に選んでも  
らったと思っています。

— 母国の台湾と熊本はすごく似ていて、ずっと前  
からここに住んでいたような感覚を覚えました。  
そのためか、ホームシックになったことはありません。  
台湾で見ていた日本のニュースやドラマから  
抱いていたイメージですが、日本では外国人はと  
ても暮らしにくく、学校ではイジメがあっていると  
思っていました。ですが、抱いていたイメージとは  
全く逆で、日本全国どこへ行っても人々がとても  
親切です。環境もすごく整っていると感じます。文  
化や生活に関してはとても台湾と似ていますが、  
人々の態度や考え方が違うようです。

— 俵山、黒川温泉、熊本城、阿蘇、八代 (妙見  
祭) が好きです。特に熊本城や阿蘇は20回以上  
訪れています。食べ物はやはりお刺身が美味し  
いです。白桃やみかんも好きです。

— ジョギングが趣味です。母国台湾では大気汚  
染のため、なかなか野外でスポーツが出来ませ  
んでしたが、熊本は空気が美味しく、道も安全で、  
安心して週に2~3回のジョギングを楽しめてい  
ます。

— 出来れば日本に半年、台湾に半年暮らした  
いです。環境博士になることが、私の夢です。

**Jaingam Wachirah** (ジャイガン ワチラ) さん (35)  
環境共生学研究科、タイ



— 2015年10月に入学しました。  
母国の大学院でサイエンティスト  
として働いていた時、博士課  
程へ進み、更に研究を続けたい  
と思いました。在学していたタイ  
のカセサート大学の教授より、  
MOUを締結している熊本県立  
大学を薦めてもらい、水銀研究

留学生奨学金もあることから、留学を決意しました。重  
金属にも興味があり、専攻分野である海洋エコロジーの  
研究を続けられ、将来は母国の役に立てる研究ができる  
大学であると聞いて来ました。

— 教育システムが違います。学生も教授も、みんな研究  
熱心だと感じます。母国の大学では研究室の規模が小さ  
いため、多数の学生が研究をすることはできません。また、  
研究に使用する機械を、技術者立会いなしに自由に扱う  
ことはできません。ここでは学部生も院生同様に研究を  
していて、自由に機械を扱うことができます。準備段階か  
ら自分で行うことができるので、良い経験だと思います。  
生活の面では、24時間営業や朝早く空いているお店・レ  
ストランが少ないので、朝ご飯を自分で準備するようにな  
りました。タイの四季ははっきりしていませんが、日本は  
四季があり、季節ごとに紅葉など色々楽しめています。  
人々も親切で、母国でも一人暮らしをしていたためか、  
ホームシックになったことはありません。

— 熊本城が好きです。木造建築物や歴史に興味があり、  
地方を訪れる際、お城があると必ず行きます。温泉も好  
きです。もう、裸で入ることに抵抗はなくなりました。食  
べ物では、お刺身やお寿司が好きです。母国では生で食  
する文化がないので、そこまで新鮮ではないようです。日  
本は、フルーツや野菜も美味しいのですが、種類が断然  
少なく、値段はタイの5倍ほどです。

— スポーツ全般、特によくテニスをします。植物を育てる  
ことが好きで、部屋で幾つか植物を育てています。

— 学位取得後は母国の大学へ戻り、新しく学んだ技術等  
を使用し、技術者として研究を続けたいです。

熊本県立大学学生支援課 池田芳枝

## ◆引き続き復興支援の活動をやっています——MATE国際ナショナル倶楽部（略称MIC）

震災から一年半経過した今でも、MICでは、被災者への救済や支援を行っています。なぜなら、国内や世界各地から外国人の方々が、益城町復興の目的で来て頂いているからです。

彼らは医療や看護の専門家、教師、芸術家、シェフ、大工 ミュージシャン、そして大学生等で、各々募って益城に駆けつけて、支援物資の配給（車不可の場所へ）、片付けや炊出し、お年寄りや子供達のケア、壊れた家財の手直しと様々なことをしてくれました。

MICでは彼らと益城町の行政、社協、及び被災者との連携に努め、大きな絆となり、地元の若者達の防災ボランティアチーム誕生へとつながりました。

また、私たちは、彼らとの出会いで、内閣府や国連の存在を身近に感じ取り、ボランティアの威力と心強さを目の当たりにして、国際交流活動の視野がさらに広がり、新たな感動を覚えました。

今後は、より多くの外国の方々が親しんで訪れていただけるような熊本にするため、引き続き活動していきます。

MIC代表 酒井陽子



岸田外務大臣を囲んで



駐日欧州連合大使とともに



異文化交流夕食会



## お知らせ

### ◆「第24回熊本国際交流祭典」を開催します♪

日時：2017年11月25日（土） 11:00～16:00

会場：健軍商店街（ピアクレス） ※入場無料

今年も内容が盛り沢山の国際交流祭典を開催します！ステージ、世界のグルメ、バザー、国際交流・協力活動などのパネル展示、着物・煎茶体験コーナー、スタンプラリー、フェイスペインティング等、ご家族やお友だち同士、お子様から大人まで誰でも楽しめますよ！ぜひご来場ください♪（※写真はこれまでの様子）



## 「第24回熊本国際交流祭典」

### 当日運営ボランティアスタッフ募集中!! (※ 応募締切は11月1日)

詳しくは、熊本県国際協会HPをご覧ください、事務局までお気軽にお問い合わせください。

■ 熊本県国際協会事務局 TEL:096-385-4488 / FAX:096-277-7005

URL: <http://www.kuma-koku.jp/> E-mail: [kuma-koku@cup.ocn.ne.jp](mailto:kuma-koku@cup.ocn.ne.jp)



## 会員団体行事予定

(2017年9月～2018年3月)

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催・連絡先
日本で一番小さな?! オクトーバーフェスト くまもと	2017年10月7日(土) 10:50～22:00 2017年10月8日(日) 11:00～21:00 熊本市国際交流会館前	ミュンヘンのビール祭に時期を 合わせて、コーラス演奏や屋台 を出店	熊本日独協会 八戸 和男 090-2393-9047 <a href="http://blog.goo.ne.jp/jdg-kumamoto">http://blog.goo.ne.jp/jdg-kumamoto</a>
王栄国際交流バザー	2017年10月28日(土) 10:00～14:00 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺2-2-24	国際交流の一環として、たくさ んの物品、衣類の販売。また、 お食事コーナーもあります。	王栄国際交流委員会 粟津 安和 096-363-4315 <a href="http://sirakawakyokai.com/">http://sirakawakyokai.com/</a>
国際交流 「クリスマス・イブ・パイプオル ガンコンサート」	2017年12月24日(日) 19:00～20:30 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺2-2-24	音楽を通して本当のクリスマス を外国から日本にいらっしやっ ている方々と共に楽しみましょ う。	
第19期市民講座 「アイルランドの魅力= 古代ケルトの祈りと再生=」	2017年10月28日(土) 14:00～15:30 ㈱お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース 2017年11月4日(土) 14:00～15:30 ㈱お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	『ハーンの遺作「日本 一つの 試論」』と題し坂本弘敏氏 小泉八雲熊本旧居館長の講座 を開講します。 『アイルランドの民話と民謡の 世界』(朗読とおはなし)と題 し石蔭 <small>つわぶき</small> の花の会 代表 斉藤 幸子氏の講座を開講します。	熊本アイルランド協会 笹原 元子 096-366-5151 <a href="http://www.kumamoto-ireland.org/">http://www.kumamoto-ireland.org/</a>
セント・パトリックス・デイ・ パレード熊本2018	2018年3月10日(土) 14:30スタート 【コース】上通→下通→サン ロード新市街 【集合場所】加茂川上通り中 央店、大橋時計店前	アイルランドのシンボルカラー である「緑」を身に付けたボラ ンティアの団体及び個人による パレード <a href="http://parade.kumamoto-ireland.org">http://parade.kumamoto-ireland.org</a>	

### 広報誌「VOICE」の編集委員

上野淳(熊本日伯協会)、上村勝代(熊本市北部国際青年交流会)、大館敬七郎((一社)熊本青年会議所)、石岩(東海大学) 神保勝己((公財)熊本YMCA)、草壁克己(崇城大学)、藤門豊明(熊本アイルランド協会)、毛利秀士(熊本むくげの会) 協会事務局